

# ★常設展示室で和歌山県の歴史について調べよう

## 旧石器時代

和歌山県で一番古い遺跡は、今から約2万年～1万3000年前のものです。  
この時代の人たちは、(石)の道具を使って、狩りをおこない、生活していました。

## 縄文時代

縄文時代になってはじめて土器が作られるようになりました。

縄目文様が多くみられることから  
縄文土器とよばれています。

土器の紋様は  
どんな道具をつかってつけたのかな？



棒、縄(撚り紐)、貝殻、ヘラや  
竹串など



これは(土偶)といいます。  
何につかわれたのかな？

出産や豊饒を祈るまつりに  
使われた

縄文時代の人たちは、どんなものを食べていたのかな

シカやイノシシの動物を狩ったり、魚や貝をとったり、ドングリなどの木の実をすりつぶして調理して食べていた。

この時代は、まだ米作りをしていませんでした。

## 弥生時代

この道具の名前は(石包丁)  
この道具は、何につかう道具でしょう？

稲穂を摘む道具



この道具の名前は(銅鐸)  
弥生時代の(農耕の祭り)でつかわれました。

大きさの違いで、使い方が違うので

小さい銅鐸は (聞く) 銅鐸

大きい銅鐸は (見る) 銅鐸と言われています。

